

共生環境課程

<紹介教員一覧>

	(氏 名)	(専門分野)
教授	青井 俊樹 . . .	野生動物管理学
教授	井良沢道也 . . .	砂防学、森林・雪氷水文学
教授	岡田 秀二 . . .	山村の地域づくり、森林管理政策・制度
教授	颯田 尚哉 . . .	環境動態学、環境工学
教授	関野 登 . . .	木質資源工学、木質材料学
教授	立川 史郎 . . .	林業生産工学
教授	橋本 良二 . . .	環境樹木・造林学
准教授	伊藤 幸男 . . .	森林政策学
准教授	國崎 貴嗣 . . .	森林計測学、森林群落生態学
准教授	小藤田久義 . . .	木材化学
准教授	濱上 邦彦 . . .	農業水利学
准教授	三宅 諭 . . .	まちづくり、都市・地域計画
准教授	山本 清仁 . . .	農業水工学、地盤工学
講師	原科 幸爾 . . .	地域生態管理学、地理情報処理学
講師	松木佐和子 . . .	森林生態学、樹木と昆虫の相互作用
講師	武藤 由子 . . .	土壌物理学

氏名	あおい としき	所属	共生環境課程	
	青井 俊樹			
専門分野	野生動物管理学			
講義テーマ	近年日本各地で深刻になって来ている、野生動物と人間生活（特に農林業）との軋轢の現状、原因の探究、および人間との共生の在り方などを主として講義する。			

氏名	いらさわ みちや	所属	共生環境課程	
	井良沢 道也			
専門分野	砂防学、森林・雪氷水文学			
講義テーマ	1. 住民と一体となった地域防災力の向上を目指して 2. 中山間地の地域活性化と砂防・治山 3. 地域住民と創る水と緑あふれる溪流の創出			

氏名	おかだ しゅうじ	所属	共生環境課程	
	岡田 秀二			
専門分野	山村の地域づくり、森林管理政策・制度			
講義テーマ	今、山村が面白い 山村については過疎や高齢化のことが話題にされることが多いのですが、一方では若い人が移り住んで、新しい山村像が築かれつつあります。山村は先進空間でもあるのです。 森林を守る仕組みと制度のいろいろ 遠くから森林を見ると同じように見えますが、そこには国所有の山があったり、地域の人の山だったり、公園的に整備されていたり、植林―伐採の循環があったり、水をたくわえる山だったり、実はいろいろな仕組みがあります。			

氏名	さった なおや	所属	共生環境課程	
	颯田 尚哉			
専門分野	環境動態学、環境工学			
講義テーマ	青森・岩手県境不法投棄現場の現状と対策 青森・岩手県境不法投棄問題の経緯・現状・対策について、岩手県側を事例にお話しします。これにかかわる研究成果もお話しします。 岩手県の災害廃棄物処理 2011年3月11日の東日本大震災では、岩手県沿岸で大量の津波災害廃棄物が発生した。その処理・処分の概要と課題についてお話しします。			

氏名	せきの のぼる	所属	共生環境課程	
	関野 登			
専門分野	木質資源工学、木質材料学			
講義テーマ	～軽くて強い“木のひみつ”～ 地球上には、樹高100mを超す巨木がある。その重さは数千トン、自重を支えるだけでも大変だ。しかも、強風時には相当な力を受ける。しかし、樹木はしなやかにたわみ、減多に折れることなく強風に耐える。その強さの秘訣は、樹木内部の力の釣り合い、そして巧妙に作られた細胞の構造にある。その力の釣り合いは“成長応力”と呼ばれ、自動車などに使われる強化ガラスと同様の原理で樹体の破壊を防いでいる。また、木の細胞は軽量・強靱となるように、極めて合理的かつ巧妙に作られている。この講義では、樹木の構造について、マクロからミクロまでの視点で紹介し、軽くて強い“木のひみつ”を考える。			

氏名	たつかわ しろう	所属	共生環境課程	
	立川 史郎			
専門分野	林業生産工学			
講義テーマ	林業が地球を救う－森で活躍する機械と作業システム－			

氏名	はしもと りょうじ	所属	共生環境課程	
	橋本 良二			
専門分野	環境樹木・造林学			
講義テーマ	テーマ 私たちの列島が緑美しいのは何故だろう？ 外国からのお客さんを案内すると、決まって、日本はどこへ行っても野山がきれいと感じます（蛇足ですが、道路もきれいだと言います）。これには、農耕の始まりから近代の植林励行に至る、農林業のあり方が深くかかわっています。キーワードは、森林伐採の歴史、そして稲と杉です。			

氏名	いとう さちお	所属	共生環境課程	
	伊藤 幸男			
専門分野	森林政策学			
講義テーマ	森林・林業の構造問題 木材の生産と流通 木質バイオマスエネルギーの現状と課題			

氏名	くにさき たかし	所属	共生環境課程 (環境科学系)	
	國崎 貴嗣			
専門分野	森林計測学、森林群落生態学			
講義テーマ	理系学部での学び方：農学部を例として (50分) バブル経済で浮かれた1989年に大学入学し、以後、不景気な時期を含め、20年以上にわたって大学生を身近で見してきました。そんな教員がおススメする、今どきの大学での学び方をお話しします (生徒さんには概ね好評です)。 地域材利用の人工林再生 (50分) 日本各地で手入れされずに放置された人工林 (植林) が増えています。なぜ放置されたのか、放置人工林の何が問題か、放置人工林をどうすれば良いのかをお話しします (林業を知らない生徒さんにも平易に説明します)。 わりばしの利用を止めれば森林破壊を減らせるの? (50分) 日本では数年前に「わりばし利用を止めてマイ箸を」という運動が起きました。「もったいない」の観点から良いことに思えます。でも、「森林破壊を減らせる」って本当でしょうか。話はそう単純ではありません。わりばしをきっかけに「世界の森林開発」についてお話しします (生徒さんによっては、やや難しい内容のようです)。			

氏名	こふじた ひさよし	所属	共生環境課程	
	小藤田 久義			
専門分野	木材化学			
講義テーマ	木材成分の有効利用 森林資源の主体をなす木材の利用形態について、木材を利用することの意義ならびに構成成分の特徴について解説するとともに、成分化学的な立場から利用の現況および今後期待される展開について紹介する。			

氏名	はまがみ くにひこ	所属	共生環境課程	
	濱上 邦彦			
専門分野	農業水利学			
講義テーマ	・ 農業農村地域における農業水利施設の役割について ・ 水と環境の関わりについて			

氏名	みやけ さとし	所属	共生環境課程	
	三宅 諭			
専門分野	まちづくり、都市・地域計画			
講義テーマ	【震災からの復興まちづくり】 岩手県沿岸地域の複数自治体の復興計画策定に関わった経験をもとに、現場で何が起きているのか、復興計画の解説とまちづくりの課題等を紹介します。 【協働のまちづくり・むらづくり】 まちづくりとは何か？地域が行政、NPO等と対等な関係を構築し、協働でまちづくりに取り組むための方法やプロセスを、事例を通して紹介します。 【景観とは何か？】 景観の概念を紹介し、事例を通して地域の成り立ちや人々の日々の生活が地域景観を作り、継承されてきていることを紹介します。			

氏名	やまもと きよひと	所属	共生環境課程	
	山本 清仁			
専門分野	農業水工学、地盤工学			
講義テーマ	灌漑施設の検査技術 数百年前から田畑を潤すために水路やため池を造り、大切に使ってきました。その歴史の概略と、ダムやため池、水路等の灌漑施設の検査技術についてお話しします。 津波被害を受けた水田とため池堤体の塩分濃度評価 陸前高田市の水田とため池において地道ですがこつこつと塩分濃度の計測を行なっております。その調査結果と物理探査を用いた塩分濃度評価の研究についてお話しします。			

氏名	はらしな こうじ	所属	共生環境課程	
	原科 幸爾			
専門分野	地域生態管理学、地理情報処理学			
講義テーマ	持続可能な地域生態系の再構築 持続可能な社会を形成するには、様々な視点から環境を見ていく必要があります。ここでは、生物保全と物質循環の視点からこれまで行ってきた研究（野生動物の分布と森林分布に関する研究、インドネシアジャワ島での研究）を紹介します。 地理情報の世界 地図で表される情報を地理情報といいます。GPS、空中写真、衛星画像を使ったりモートセンシング、地理情報をコンピュータで処理する地理情報システム（GIS）について、お話しします。			

氏名	まつき さわこ	所属	共生環境課程	
	松木 佐和子			
専門分野	森林生態学、樹木と昆虫の相互作用			
講義テーマ	昆虫から読み取る森からのメッセージ 森林には日頃から多くの昆虫が暮らしていますが、時として大発生を起こして樹木が枯死するような事が起こります。昆虫の大発生が起きる背景にはどんな秘密が隠されているのでしょうか？そこから私たち人間たちは何を学ばいいのでしょうか？みなさんと一緒に考えてみたいと思います。 人の営みが作り出す森林の風景 森林の伐採、植栽、野焼き、薪取り、昔から人は色々な形で森林を利用してきました。今、山から人が離れて行く中で、山の風景も変わろうとしています。変わりゆく風景の中で、自然生態系はどのような変化を見せ、私たちにどんな影響をおよぼそうとしているのでしょうか？			

氏名	むとう よしこ	所属	共生環境課程	
	武藤 由子			
専門分野	土壌物理学			
講義テーマ	「土の中では何が起きている？」 土の中では様々な生物活動や物質のふるまいがあり、それらは地球環境の形成と深く関わっています。私達にとって住みよい環境が維持されることに対する土の役割について考えてみましょう。			